

令和2年度第2回三重県ユニバーサルデザイン協議会（書面開催） 議事録

項目	ご意見	見解・対応等
1. 「県有施設のためのユニバーサルデザイン(UD)ガイドライン」について	<p>今般のガイドラインにつきましては、ぜひとも県内各市町も参考にさせていただき、取り入れていただくような機運が高まることを期待いたします。また、県としても継続的に各市町へガイドライン活用の働きかけをお願いします。</p>	<p>各市町へガイドラインを配布するとともに、機会をとらえて周知したいと思います。</p>
1. 「県有施設のためのユニバーサルデザイン(UD)ガイドライン」について	<p>「県有施設のためのユニバーサルデザイン(UD)ガイドライン」についてですが、今後は、いかに県や市町の各部署に周知し、実際に運用してもらうかが課題になるかと思えます。UDに配慮した施設整備を実現させていくには、単に、このガイドラインを参考にしてくださいというだけでは、特に、より基準のレベルが高い整備の実現は難しいと思えます。策定主体のUD担当部署として、このガイドラインをもとに、個々の施設整備に対して積極的な働きかけを行う必要があると思えますが、その点について、もし、お考えがあるようでしたら、お教えてください。</p>	<p>県各機関への周知、各市町への周知を進めていきます。 個々の施設整備に対しては、公共施設等管理者の担当者会議等を通じ、庁舎管理を担う部署へ周知を行うとともに、施設整備に携わる部署とも協力しながら進めたいと思えます。</p>
1. 「県有施設のためのユニバーサルデザイン(UD)ガイドライン」について	<p>詳細について、いろいろ優しい言葉で分かりやすく書かれており大変読みやすいなあと、感じました。 これを実際に施工にあたられる方々が、有効に利用していただけるとうれいですね。 最終のチェックリストも、これから使われる人が随時項目を加えて、充実し使われることを期待しております。</p>	<p>普段、設計や施工に携わっていない職員にも伝わるようまとめましたので、このガイドラインをベースにいただき、各施設の改修等に役立てていただけたらと思います。</p>
1. 「県有施設のためのユニバーサルデザイン(UD)ガイドライン」について	<p>上記以外に、UDガイドラインに関して、複数の委員の方から記載事項や方法について詳細な助言、ご意見を頂きました。本ガイドラインを今後改定する際の貴重な資料として、また、今後の業務を進めるうえにおいて参考にさせていただきます。</p>	

2. ヘルプマークの普及・三重おもいやり駐車場利用証制度について	ヘルプマーク普及の取組みとして、路線バス車内へのポスター掲示やマグネットステッカー貼付等を協力させていただくことが可能ですので、何かご提案があればお知らせください。	この度は、大変ありがたいご提案をいただきありがとうございます。三重県バス協会の取組として、三重交通グループ様と三岐鉄道(株)様の路線バス中吊り用ポスター(B3サイズ)500枚を提供させていただきました。 引き続きヘルプマークの普及・啓発へのご協力をお願いします。
2. ヘルプマークの普及・三重おもいやり駐車場利用証制度について	子供向けのPRグッズは今後なにか？お考えですか？	ヘルプマークにつきましては、子ども用パンフレットを作成し、啓発に活用しています。 「三重おもいやり駐車場利用制度」につきましては今後の検討課題とさせていただきます。貴重なご意見ありがとうございます。
2. ヘルプマークの普及・三重おもいやり駐車場利用証制度について	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の子どもが小学生なので自分の子どもだけでなく、周りの小学生にヘルプマークについて聞いてみたところ、知っていた児童はいませんでした。「みたこともない」という回答ばかり。小学校ではユニバーサルデザインについては習っており、ヘルプマークについて説明すると低学年でも意外とすんなり意義を理解していました。小さい頃からの理解は大切ですし、子どもから話をきくと親にも浸透しやすいのではないのでしょうか。ポスターの掲示やチラシの配布対象として段階的にでも小学校を検討することは必要ではないかと考えます。 ・三重短期大学でも積極的に県と協力して啓発活動ができればと考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貴重なご意見ありがとうございます。 小学生を含めた若年層へのヘルプマーク普及・啓発は大事なことです。ご提案のとおり、県内各小学校でのポスター・チラシ配布についても検討課題とさせていただきます。また、各UD団体が県内小中学校で実施している「UD学校出前授業」においても、ヘルプマークの啓発を行っています。 ・ 三重短期大学での啓発活動として、福祉関係での講義や啓発番組のデータ提供等の協力ができると思います。
3. 令和3年度当初予算(案)について	資料3-1 (誤)「近鉄南ヶ丘駅」 → (正)近鉄南が丘駅	ご指摘のとおり修正し、今後の文書作成時には注意いたします。
3. 令和3年度当初予算(案)について	<p>松阪では認知症や地域の生活支援サービス担い手養成講座が多く少しの福祉ポイントが心の支えと魅力になっているように思う。</p> <p>UDのアドバイザーとしての魅力を感じてもらい、ボランティアへの参加をしていただけの“魅力づくりの必要性”を感じています。</p>	ご指摘のとおり、今後のUD推進においては、地域福祉の支援が重要なポイントになると思われます。地域福祉の支援充実により県民のボランティア意識が高揚し、各UD団体の後継者育成にもつながると思われます。 貴重なご意見ありがとうございます。

4. 三重県ふるさと応援寄附金の活用について	プラスワンキャンペーンは大いに推奨します。	「おもいやりの絆でつながる三重」プラスワンキャンペーンの取組に、ご理解いただきありがとうございます。引き続き、三重県におけるUD推進に取り組んでいきます。
5. 三重県UD条例・施行規則の改正について	交通網を利用する際の面的UDの充実を願っています。今は整備が電車、バスなどと単独的で、トイレ、待合室、ベンチ等総合されたターミナルを街づくりと合わせて作って欲しいものです。小中高等学校が特別特定建築物へとなり、見直します。	ご意見のとおり、移動の円滑化を図るためには、電車、バスのみならず、建築物や道路等の連続性を確保した面的・一体的なバリアフリー化が必要です。県では、面的なバリアフリー整備を推進するまちづくりの計画が市町により策定されている地区については、鉄道事業者が進める駅のエレベーター、トイレ、待合室等のバリアフリー化工事に対し優先的に補助を行っており、今後も引き続き支援を行っていきます。
6. その他	スマホ利用者も多く、無線LANの整備は必須と思う。	「FreeWiFi-MIE」の協力事業者の拡大と観光施設、店舗等への周知の推進について、引き続き取り組んでいきます。
6. その他	ICカードは便利。ほとんどお金を持たなくていい。	交通系ICカードの利用範囲拡大等による鉄道利便性向上について、引き続き取り組んでまいります。